

みんなで考えよう  
地域の介護福祉の現状と未来

第1回

# 全国介護福祉総合 フェスティバル in 大阪

## 見どころガイドブック

大阪から新しい介護が生まれる！

2016/ 7/2 土・3日・4日

1日目 シティプラザ大阪 (大阪市中央区)

2・3日目 大阪産業創造館 (大阪市中央区)



## 「介護と地域づくり」7月2日(土)のプログラム ..... 6

*Today's Highlight* 7月2日(土)のみどころ

谷畑 英吾 障がい者・高齢者の社会参加を軸とした地域づくり ..... 7

石井富美 福祉と医療・看護を通じてまちづくりに貢献していきたい ..... 8

坪 茂典 「計画」と「実行」を確実にする事業計画に必要なこと ..... 8

高瀬比左子×川島 実 ゆとりを持って地域に出ていこう ..... 9



## 「介護と子どもの教育」7月3日(日)のプログラム ..... 10

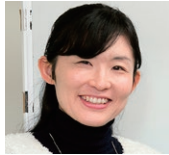
*Today's Highlight* 7月3日(日)のみどころ

新崎国広 陸と海の境界の“なごさ”のように福祉施設を拠点に地域社会に開いていく ..... 11

### Book Review

『めざせ! お笑い福祉士 ~豊かな人生の生きがい~』 ..... 12

高瀬 比左子×若野 達也 「助けて」の一声が地域を巻き込む ..... 13



## 「介護現場の課題と経営」7月4日(月)のプログラム ..... 14

*Today's Highlight* 7月4日(月)のみどころ

佐々木 淳 患者、家族、多職種全員が満足する在宅医療の仕組みづくりが必要 ..... 15

左 敬真 全国に「自分が受けたい・家族に受けさせたい介護」を広げる ..... 16

Book Review ..... 17



## 展示エリアパーフェクトガイド ..... 18~23

### ●未来の介護体験ゾーン

株式会社バイオネスト/NDソフトウェア株式会社/大和ハウス工業株式会社/株式会社エスケーエレクトロニクス/  
大阪市立淀商業高等学校/NPO法人24時間みまもり社会を創る会・笑顔/株式会社榎原製作所



### ●認知症対策ゾーン

株式会社ソフトアップJ/認知症パネルコーナー/公益社団法人大阪介護福祉士会/パナホーム株式会社



### ●ブックコーナー

有限会社ワニコ書店/有限会社浪速社

### ●食・栄養と健康ゾーン

イーエヌ大塚製薬株式会社/日清オイリオグループ株式会社/株式会社舞昆のこうはら/  
太陽化学株式会社 メディケアグループ



### ●情報・相談ゾーン

シニア総合サポートセンター/株式会社コミュニケーター/大阪府福祉部/  
一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会/一般社団法人介護福祉指導教育推進機構/月刊『介護ビジョン』



新しい介護福祉をデザインする経営人材「介護福祉経営士」とは ..... 24

# みんなで考えよう 地域の介護福祉の 現状と未来

団塊世代が75歳以上となる2025年まで残り9年、介護は緊急課題となっています。しかし、急増する高齢者の介護問題を介護保険制度だけですべて解決することは財政的にも非常に厳しいと言わざるを得ません。

そのため、今後は介護福祉関係者のみならず、他産業との連携による新しいサービス・製品の共創や、それぞれの地域性に合った対策を講じていく必要があります。

加えて、将来的にはさらに少子高齢化が進展するため、増加する介護需要を抑えるための健康づくり等の方策が不可欠です。したがって、子ども・若年世代が介護福祉にふれて、認識を深める機会を増やすことが重要だと考えます。

そこで当フェスティバルは、「介護福祉経営士」による問題提起、発信を行うと同時に、幅広い世代、立場の人々が地域の介護福祉のあり方について考え、未来への夢をふくらませる場とします。

一般社団法人 日本介護福祉経営人材教育協会

## 【「全国介護福祉総合フェスティバル in 大阪」実行委員会】(五十音順)

委員長	多田 宏	一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会代表理事、元・社団法人シルバーサービス振興会理事長、元・厚生省事務次官
委員長代理	松本 力	日本介護福祉経営人材教育協会関西支部長、社会医療法人愛仁会特任理事、大阪府介護老人保健施設協会監事 大阪府私立病院協会事務長会会長
委員	浅野 幸子	公益社団法人大阪介護福祉士会会長
	新崎 国広	大阪教育大学教育学部教養学科准教授
	太田 孝昭	一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会監事、OAG税理士法人代表社員、社会福祉法人福田会理事長
	大橋 謙策	一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会理事、公益財団法人テクノエイド協会理事長、元・日本社会事業大学学長
	小笠原 浩一	一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会理事、東北福祉大学大学院総合福祉学研究所教授、日本介護経営学会副会長
	河崎 茂子	社会医療法人慈薫会河崎病院理事長、公益社団法人日本認知症グループホーム協会 会長 公益社団法人全国介護老人保健施設協会常務理事
	川淵 孝一	一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会理事、東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科医療経済学分野教授
	北島 政樹	一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会副代表理事、学校法人国際医療福祉大学副理事長、国際医療福祉大学名誉学長 元・慶應義塾大学病院病院長、元・慶應義塾大学医学部医学部長
	酒井 隆行	大阪府福祉部長
	清水 康之	一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会理事、特定非営利活動法人福祉総合評価機構理事長、元・川崎医療福祉大学教授
	田中 一正	大和ハウス工業株式会社 理事 ヒューマン・ケア事業推進部長 ロボット事業推進室長
	時田 純	一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会副代表理事、社会福祉法人小田原福祉会理事長、一般社団法人24時間在宅ケア研究会理事長
	中澤 明子	一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会理事、社会福祉法人せんねん村常務理事・総合施設長、医療法人仁医会専務理事 一般社団法人これからの福祉と医療を実践する会理事長
	林 諄	一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会理事、株式会社日本医療企画代表取締役、株式会社ヘルスケア総合政策研究所代表取締役
	両金 史素	フジサンケイビジネスアライメント大阪代表

【主催】一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会

【協賛出展企業】

株式会社ビオネスト  
NDソフトウェア株式会社  
大和ハウス工業株式会社  
株式会社エスケーエレクトロニクス  
大阪市立淀商業高等学校  
NPO法人24時間みまもり社会を創る会・笑顔  
株式会社榎原製作所  
株式会社ソフトアップJ  
公益社団法人大阪介護福祉士会  
パナホーム株式会社  
イーエヌ大塚製薬株式会社  
日清オイリオグループ株式会社  
株式会社舞昆のこうはら  
太陽化学株式会社  
有限会社ワニコ書店  
有限会社浪速社  
一般社団法人シニア総合サポートセンター  
株式会社コミュニケーター  
大阪府福祉部  
一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会  
一般社団法人介護福祉指導教育推進機構

【物品協賛】

バランス株式会社  
ネスレ日本株式会社  
味の素株式会社  
アサヒグループ食品株式会社  
林兼産業株式会社  
コクヨ株式会社  
ライオンハイジーン株式会社  
米国ポテト協会

【名刺広告】

株式会社ケイ・エスピー  
株式会社日医リース  
社会福祉法人援助会 聖ヨゼフの園  
京セラコミュニケーションシステム株式会社  
エバーライフビジネスカレッジ  
中北薬品株式会社  
パスカルジャパン  
各務克郎税理士事務所  
株式会社カナメ経営会計  
図書印刷株式会社  
株式会社明昌堂  
有限会社人事・労務  
めいとケア  
特定医療法人財団博仁会 横田病院  
能登印刷株式会社  
株式会社上野印刷  
株式会社マステック  
大日本印刷株式会社  
おさる  
MMPG  
株式会社ウエルビー  
株式会社ソラスト  
長谷川介護サービス株式会社  
クレールケアサポート  
湘南乃えんホールディングス株式会社  
新興サービス株式会社 大阪支店  
コミュニティケアライフ2030西兵庫  
一般社団法人C.C.Net  
社会福祉法人小田原福祉会  
株式会社メディカル・リーフ  
凸版印刷株式会社

【後援】

大阪府  
大阪市  
大阪府社会福祉協議会  
公益社団法人大阪介護福祉士会  
公益社団法人大阪介護老人保健施設協会  
一般財団法人大阪府地域福祉推進財団  
社会福祉法人全国社会福祉協議会  
公益社団法人全国老人福祉施設協議会  
公益社団法人全国老人保健施設協会  
公益社団法人日本介護福祉士会  
公益社団法人日本認知症グループホーム協会  
公益財団法人テクノエイド協会  
公益社団法人全国有料老人ホーム協会  
一般社団法人シルバーサービス振興会  
一般社団法人日本在宅介護協会  
一般社団法人『民間介護事業者の質を高める』全国介護事業者協議会  
一般社団法人日本介護支援専門員協会  
公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会  
一般社団法人24時間在宅ケア研究会  
社会福祉法人産経新聞厚生文化事業団  
一般社団法人日本介護協会  
一般社団法人福祉住環境アソシエーション  
西宮介護ネットワーク  
特定非営利活動法人ユニバーサルデザイン推進協会  
一般社団法人日本医療経営実践協会  
一般社団法人介護福祉指導教育推進機構  
一般社団法人日本栄養経営実践協会



# 介護と地域づくり

7月2日(土) 会場:シティプラザ大阪

介護の課題を考えることは、これからの「地域創生」に深くかかわるテーマです。  
第1日は「介護と地域づくり」をテーマに掲げ、住民、行政、介護・医療関係者、  
さまざまな立場がどのように介護を進化させ、地域を活性化させていくか語り合います。

時間	内容	講演者
13:00 ▼ 13:20	開会式 テープカット	多田 宏(一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会代表理事) 松本 力(日本介護福祉経営人材教育協会 関西支部長)ほか
13:20 ▼ 13:40	開催地代表挨拶 「福祉先進地・大阪から発信する新しい介護福祉」	酒井隆行(大阪府福祉部長)
13:40 ▼ 14:20	基調講演 「障がい者・高齢者の社会参加を軸とした地域づくり」	谷畑英吾(滋賀県湖南市長)
14:40 ▼ 16:10	シンポジウム① 「福祉と医療・看護がまちづくりに果たす役割」	濱谷浩樹(厚生労働省大臣官房審議官(医療介護連携担当)) 金森佳津(大阪府・大阪市 副首都推進局 総務担当部長、 前大阪府 政策企画部戦略事業室 医療戦略担当副理事) 石井富美(よどきり医療と介護のまちづくり株式会社 取締役、 多摩大学医療・介護ソリューション研究所フェロー) 坪 茂典(社会医療法人 愛仁会 本部・介護福祉事業部長、 社会福祉法人 愛和会 本部・統括部長)  【コーディネーター】 青木正人(株式会社ウエルビー代表取締役)
16:30 ▼ 17:30	シンポジウム② 「地域を耕すために必要なことは？」	永田かおり(社会福祉法人ひだまり理事長) 川島 実(フリー医師、元宮城県気仙沼市立本吉病院院長) 幸地伸哉(西宮介護ネットワーク代表、 株式会社グローバルワーク代表取締役) 神野正彦(ケアマネジャー、イラストレーター、エッセイスト)  【コーディネーター】 高瀬比左子(未来をつくるkaigoカフェ代表)
18:00 ▼ 19:30	交流会《有料》	



イラスト:神野正彦

Today's Highlight

**谷畑 英吾**

滋賀県湖南市長

# 障がい者・高齢者の社会参加を軸とした地域づくり

**滋** 賀県湖南市には、わが国の社会福祉の父・糸賀一雄氏の系譜が脈々と受け継がれてい

ます。戦後間もない昭和21年、滋賀

県に知的障がい児等の入所・教育・医療を行う「近江学園」が設立され

ましたが、その創立者の1人が糸

賀氏です。その後、糸賀思想を受

け継いだ人々が県内に次々と障がい者施設を展開していきます。

今では、湖南市は障がい者福祉

の先進地として知られています。が、しかしそれは、福祉施設の充実というより、生活エリアに障がい者がいることを当たり前として受け入れている高い市民意識によるものです。

「自覚者が責任者」という自主独立の

気風が人々にはあり、行政発信だけでなく、事業所発信、地域発信の様々な取り組みで、障がいのあるなしや高齢であったり認知症であっても、住み慣れたまちな

かで、いつまでもその人らしく暮らしていける環境が整備されています。

本日は、「さりげないささえ合

い」が息づくまちとして、湖南市で特筆すべき発達支援システムをはじめ、障がい者や高齢者の自立を支援する事業、地域活動や社会の居場所づくりの一部をご紹介します。

また、地域の自然エネルギーは

地域固有の資源であるとの認識のもと、「湖南市地域自然エネルギー基本条例」を平成24年9月に制定し、地域経済の活性化につながる取り組みを推進し、もって地域が主体となった地域社会の持続的な発展につなげてきました。その背景には、湖南市では、全国に先駆けて市民共同発電所が稼働するなど、市民が地域に存在する自然エネルギーを共同で利用する先進的な取り組みが展開されてきたこと

があります。



**たにはた・えいご**  
滋賀県湖南市長。前近畿市長会会長。滋賀県庁職員、甲西町長を経て、2004年初代市長に就任。現在3期目。発達障がい児を含む支援の必要な人に乳幼児期から就労までの一貫したサービスと情報を提供する「発達支援システム」等、湖南市独自の福祉施策の運営、発展に力を注ぐなど、福祉のまちづくりを進めている。また、SNSを駆使した情報発信で市民との距離も近く、斬新で柔軟な政治手法に大きな期待が集まる。

「基本条例」では、たとえば市民には、自然エネルギーについての知識の習得と実践に努め、その日常生活において、自然エネルギーの活用を努めるものと定めています。それに対して市は、自然エネルギーの活用について、市民及び事業者の理解を深めるため、自然エネルギーに関する学習の推進及び普及啓発について必要な措置を講じることになっています。

現在、障がい者や高齢者が社会参画する、エネルギーを活用した新たな福祉就労の形態を模索中ですが、サービスの受け手を担い手とする発想の転換を現実にしたまちづくりにも触れたいと思います。

**【湖南市DATE】**

総人口：54,953人  
男性：28,478人  
女性：26,475人  
世帯数：22,803世帯  
(2016年6月1日現在)

**●医療・介護の特徴**

医療資源についてみると、一般病床数は約181床。全国平均約698床の4分の1弱。一方、療養病床数は全国平均約251床に対して約366床と1.5倍に近い(いずれも人口10万人当たり)。医師数・看護師数はいずれも全国平均の半以下だが、隣接する甲賀市を含めた甲賀2次医療圏でみると、比較的充足している。これに対し介護資源は、施設数では約19と、全国平均の約14を大きく上回るとともに、入所定員数(入所型)は全国平均の約77人に対して、約108人となっている。看護師・介護職員の人員数については、全国平均の看護師約19人、介護職員約101人に対し、看護師約31人、介護職員約124人と充足ぶりが目につく(いずれも75歳以上1千人当たり)。

※医療資源は2015年9月現在、介護資源は2015年8月現在の集計値。人口10万人当たり、75歳以上1千人当たりは、いずれも2010年国勢調査総人口で計算

Today's Highlight

石井 富美

よどぎり医療と介護のまちづくり株式会社取締役  
多摩大学 医療・介護ソリューション研究所フェロー

# 福祉と医療・看護を通じて まちづくりに貢献していきたい

## 私

「よどぎり医療と介護のまちづくり株式会社」は、まちで活躍する看護師、コミュニティナーズが中心の会社です。私たちが「まちづくり」で果たす役割は、地域包括ケアシステムのフィールドである「住まい」での暮らしを支え、高齢になっても住み慣れた地域でさまざまな支援を受けながら暮らし続けることができる環境をつくっていくことです。

私たちは、身体的にも精神的にも弱さを覚えている人たちが、安心して暮らすことができるようにさまざまなサービスを提供しています。医療や介護が必要な方が在宅で過ごすためにはどのようなサービスを活用すればよいかを提案する「ケアプランセンター」、在宅で医療が必要な方に医療サービスを提供する「訪問看護ステーション」、暮らしの困り事や不安な気持ちの相談を受け付ける「よど

まち保健室」、ヘルシーリテラシーを高め、健康に関心を持つよう働きかけるイベントを行ったり、働き甲斐や仲間づくり、コミュニティへの参加のきっかけづくりを行う「まちカフェ」などを展開しています。

また、ホスピス型賃貸住宅「かんど庵」は医療依存度が高く、在宅生活が困難であっても、家庭に近い環境で最後の時を過ごすことを望まれている方々に寄り添う看護を提供しています。

福祉と医療・看護が地域のなかで果たす役割は、直接的に医療・看護・介護を提供することだけではありません。まちで活躍する看護師、コミュニティナーズは医師やケアマネジャー、医療の専門職や地域の方々と連携しながら、生き方、終い方に寄り添うさまざまな役割を果たしていきたいと思っています。

坪茂 茂典

社会医療法人愛仁会本部介護福祉事業部長  
社会福祉法人愛和会本部統括部長

# 「計画」と「実行」を確実にする 事業計画に必要なこと

## 今

後、介護事業者が事業計画をつくるにあたっては、地域包括ケアシステムが進められることを念頭に、市町村の介護保険事業計画の内容を理解し、整合性を意識した計画立案・実行が求められます。事業範囲が広がる場合は、各地域の事情を踏まえた「エリア・マネジメント」の考え方が必要になります。

私の勤務する愛仁会では、市町村が策定する介護保険事業計画にあわせて、3年ごとの中期事業計画をエリア・マネジメントにリンクさせる形で策定しています。これにより、各エリアにおいて、3年を単位とした効率的・効果的な事業実践が可能になります。3年単位の中期計画をもとに単年度計画を策定します。いくら計画を立てても、それが実行されないという意味がありませんので、単年度計画を確実に実践するための仕

組みが必要になります。そのため、具体的な取り組みとして、「方針管理」と「業務改善」の2つを柱とした「TQM (Total Quality Management)」（総合「質」経営）システムを取り入れています。これにより「計画」と「実行」の両輪がきちんと回り、事業が進められていくのです。

事業活動を行うには、ヒト・モノ・カネ・情報に時間を加えた経営資源をうまく組み合わせ、最大の成果を引き出すことが求められます。また、自らを取り巻く外部・内部環境を理解し、強みを発揮できる領域を特定したうえで、そこに効率的・集中的に経営資源を投入する「選択と集中」の視点も大切です。経営の根幹となる「事業計画」をその実行エンジンとなる「TQM」の実践は、そのための有効な仕組みとなります。

引用先：「介護ビジネス」2016年1月号～6月号



つぼしげのり

1985年、愛仁会入職。2000年、大阪府豊中市で社会福祉法人愛和会が経営する大規模総合福祉施設「ローズコミュニティ緑地」開設プロジェクトをリーダーとして手がける。02年、法人事務部長、07年、ケアハウス施設長を経て、現職



いしいふみ

東京理科大学理学部卒、多摩大学大学院経営情報学専攻科修了、MBA。民間企業でシステムエンジニアとして勤務したのち、社会福祉法人日本医療伝道会（衣笠病院グループ）に入職。セコム医療システム株式会社、淀川キリスト教病院勤務を経て、現職



Today's Highlight

高瀬 比左子 × 川島 実

ゆとりを持って地域に出ていく

——これまでの川島さんの活動をお聞かせください。

**川島** 医学生時代のボクシングでプロデビューをして、6年間ほどプロボクサーとして活動をしていました。プロボクサー引退後は全国で地域医療に従事していました。東日本大震災が発生後、ボランティア活動をしていた宮城県気仙沼市立本吉病院の院長として14年3月まで勤務していました。現在は地元の奈良県に戻り、フリーの医師として活動しています。

**高瀬** 川島さんほどのように地域とつながりをもっているのですか。  
**川島** 私の場合は子どもを通してかかわっていく、ということが大きいですね。東北で働いていたときもPTAなどの活動はしていたのですが、奈良でも子どもの小学校と中学校のPTA活動に参加しています。東北と異なるのは、PTA活動に参加されているのが母

親ばかりという点です。集まるのは昼間で、会合後は解散してそれぞれの自宅で夕飯をつくることになるので、必然的に母親が参加する率が高くなっているのかもしれませんが。PTA活動などを通じて、父親もいい意味で引つ張り出したかと思つてはいます。ただ、参加している方の顔ぶれを見ると、看護師などコメディカルの方が意外といふんです。シフト制ゆえ平日の日中でも参加できるのかもしれない。

**高瀬** 川島さんもPTA会長を務めていらつしやいますよね。医師や看護師の方などには忙しいというイメージがあつて、こうした活動には参加できないのではと思つていました。  
**川島** 反対に、自分の時間がある程度コントロールできる職業なんだと思います。そういう点でいえば、介護職の方などもPTA活動

などには参加しやすいのではないのでしょうか。  
**高瀬** 介護職であればシフト制であつたりもするので、日中のPTA活動にも比較的参加しやすいですね。介護職として地域にかかわっていくという専門的なスキルを活かす形でなければいけないと思われるかもしれませんが、地域での活動にはそういう職業の部分から離れて参加していいと思います。PTA活動であれば、子どもの父親、母親という立場での参加で十分ではないでしょうか。

——地域に出ていく課題として、何が課題でしょうか。

**川島** 近所付き合いが大切だとわかつていても、なかなか顔の見える関係になれないところに課題があるように感じます。熊本地震が起きた直後、テレビのニュースなどでも「近所で声をかけ合ってください」と呼びかけていましたね。しかし、普段から付き合いをしていなければ、そんなことはできないでしょう。

**高瀬** 震災時に限らず、ゆとりがないことは大きな問題ですね。仕事などに追われて、それこそ地域に目を向けている暇もないでしょ

うし、ゆとりがないと、人のことを支えたり助けたりすることもできないのではないのでしょうか。

**川島** とはいえ、PTA活動をすべての人がやることは難しいでしょうね。医師はある程度の収入も見込めますので、多少ほかの人よりも休みを多くとつてもどうにかなるという点もあるでしょう。

**高瀬** 働き方に優先順位をつけることが大切ではないでしょうか。自分自身が優先順位をつけて、余裕ができたなら地域の活動などにも取り組めるといいですね。それが豊かさではないかと思ひます。



○引用先：「介護ビジョン」2016年6月号

たかせ・ひさこ

介護福祉士・社会福祉士・介護支援専門員。2012年より「未来をつくるkaigoカフェ」を開始。介護関係者のみならず、多職種を交えた活動にはこれまで延べ3,000人以上が参加。小中高への出張カフェや、一般企業や専門学校でのキャリアアップ勉強会等の設立支援も行う

かわしま・みのる

京都大学医学部医学科卒業。在学中にプロボクサーデビュー。29歳でボクシング引退後、全国各地を転々としながら救急、地域医療を学ぶ。2011年10月、宮城県気仙沼市立本吉病院院長に就任。14年3月、退職。奈良へ戻り、現在はパート医師としていくつかの施設で地域医療にかかわっている

# 介護と子どもの教育

7月3日(日) 会場:大阪産業創造館 4階イベントホール

超高齢社会の未来を担う子どもたちに、私たち大人は介護を通して何を伝えていくべきでしょうか？  
大会2日目は、さながら「介護の文化祭」のように会場が一体となり、  
みんなで未来を考える機会とします。

時間	内容	講演者
10:00 ▼ 11:45	シンポジウム 「みんなで考えよう『介護×教育』」	新崎国広(大阪教育大学 教養学科人間科学講座准教授) 青木健至(大阪市教育センター 主任指導主事)  【コーディネーター】 長谷憲明(日本介護福祉経営人材教育協会 関西支部理事、 関西国際大学 グローバル教育推進機構 学長補佐 教授 コミュニティ交流総合センター長)
11:45 ▼ 12:00	第1回「介護福祉のみらい」作文コンクール 表彰式	将来を担う小学生、中学生、高校生が、介護福祉の大切さを 知り、未来について考えて書き上げた「介護福祉のみらい」作 文の優秀作品を表彰します。
13:00 ▼ 14:20	お笑い介護道場	お笑い福祉士全国の会、笑福亭學光
14:50 ▼ 16:40	未来をつくるkaigoカフェ in OSAKA 《有料》 「子どもたちに伝えたい介護の真実」	若野達也(若年性認知症サポートセンター 絆や) 田中克博(京都府精華町キャラバン・メイト連絡会代表) 松本真希子(社会福祉法人あかね 統括本部長) 渡辺哲弘(きらめき介護塾代表) 塩山 諒(NPO法人スマイルスタイル 代表理事)  【コーディネーター】 高瀬比左子(未来をつくるkaigoカフェ代表)

同時開催

展示エリア:大阪産業創造館3階 特設ステージ(定員80人)

時間	内容	詳細
10:00 ▼ 12:00	プレゼンテーション・セミナー	協賛企業によるミニセミナー
12:00 ▼ 14:00	シアタータイム 	介護をテーマにした映画試写会&トークショウ 《『つむぐもの』トークショウ》 石倉三郎さん(主演)、犬童一利さん(監督) 《ダイジェスト上映》 『つむぐもの』『後妻業の女』『ベトナムの風に吹かれて』ほか
14:00 ▼ 16:30	プレゼンテーション・セミナー	協賛企業によるミニセミナー



Today's Highlight

新崎 国広

大阪教育大学教養学科人間科学講座准教授

# 陸と海の境界の「なぎさ」のように 福祉施設を拠点に地域社会に開いていく

**日** 本の社会福祉は、入所型福祉サービスを中心として展開してきました。施設福祉サービスの強みは、施設利用者が24時間、専門的ケアや支援が受けられることによる安心と安全な保護機能が提供できることです。一方で、「個別化ニーズに対応できない集団への画一的なサービス提供」「利用者のプライバシーの喪失」「利用者が自己選択する余地のないプログラム

の強要」「施設内規則の遵守の強要」や、「職員―利用者関係」という固定化された人間関係から生じる「社会性・人間関係能力の低下」「利用者の主体性の喪失」「虐待が起こりやすい状況」など、施設福祉サービスならではの弱みもあります。

施設福祉サービスは、単一の衣食住の援助ではなく、生活の全体すなわち生活者の援助が重要な特

徴であるべきですが、施設内の自己完結的なケアにとどまり、生活主体者である施設入所者に対し、本来のソーシャルワーク支援が行われていない現状が、残念ながら少なくありません。

2008年3月、厚生労働省「これからの地域福祉のあり方に関する研究会」が出した報告書で、これからの社会福祉施設の役割として、「福祉施設には空間があり、職員がおり専門性もある。福祉施設が地域の拠点として住民に活用されていくことは、開かれた施設づくりの点からも積極的に取り組まれるべきである」と示されました。

従来、日本においては「施設福祉サービス」と「地域福祉サービス」を対立概念として捉える傾向があり、このため入所施設の社会的役割や機能が地域福祉論の中で十分議論されてきませんでした。

岡本榮一氏が構想した「なぎさの福祉コミュニティ」とは、施設利用者を中心とすながら、地域社会に開かれた人と人の媒介的空間において展開される地域社会関係の総体と言えるのです。

の福祉コミュニティ論というといものがありません。「なぎさの福祉コミュニティ」とは、入所型福祉施設、地域拠点型福祉施設(センター)などが、あたかも陸と海の境界に展開する「なぎさ」のように、福祉施設を拠点としつつ、一つの単位として、施設と地域社会との間に展開されるゆるやかで暖かな共同的・媒体的領域であるとし、その動的空間をベースに、地域住民の参加を得て、支え合いや交流、自己実現あるいは育ちあいの場をつくりあげ、ノーマルな対人的・共同的な地域社会関係の創造をめざすとしています。「なぎさの福祉コミュニティ」とは、施設利用者を中心とすながら、地域社会に開かれた人と人の媒介的空間において展開される地域社会関係の総体と言えるのです。

2000年に改正された社会福祉法第4条には、「地域住民、社

会福祉を目的とする事業を営む者及び社会福祉に関する活動を行う者は相互に協力し、福祉サービスを必要とする地域住民が地域社会を構成する一員として日常生活を営み、社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に参加する機会が与えられるように、地域福祉の推進に努めなければならない」と示されています。

福祉サービスを必要とする地域住民に対し、福祉や介護を職業とする専門職と、ボランティアやNPO、その他地域福祉の担い手として活動するインフォーマルな人材による、公民協働の包括的な支援やケアによる地域福祉の推進が求められています。

これからの地域福祉や介護福祉の考え方は、「公助」+「共助・近助」+「自助」のマルチミックスモデルの視点が必要不可欠となっていくことでしょう。

1978年、肢体不自由児施設にてソーシャルワーカー兼ボランティアコーディネーターとして従事。働きながら、社会福祉士資格取得、大阪教育大学大学院修士課程修了。1999年、専門学校専任講師、2001年、中部学院大学助教授を経て、2003年より現職

あらさき・くにひろ

1978年、肢体不自由児施設にてソーシャルワーカー兼ボランティアコーディネーターとして従事。働きながら、社会福祉士資格取得、大阪教育大学大学院修士課程修了。1999年、専門学校専任講師、2001年、中部学院大学助教授を経て、2003年より現職

○引用先：『介護経営白書 2016-2017年版』





# めざせ！お笑い福祉士

## 豊かな人生の生きがい

### 笑いは最高のコミュニケーション

### お笑いを通して、人と人の温かいつながりを取り戻したい

**介** 護福祉士」「社会福祉士」に  
並ぶ第三の福祉士である

「お笑い福祉士」。勿論、国家資格  
ではなく、公的資格でもない。

「お笑い福祉士」は、落語家・笑  
福亭學光(がっこ)氏が個人で認定  
する資格である。福祉施設などを  
訪問し、笑いを届けるボランティア  
ア芸人の称号として認定を始めた  
のが2004年、13年目となる現  
在では、300人の「お笑い福祉士」  
が資格を取得し、全国で活躍して  
いる。

本書は、笑福亭學光氏の「お笑  
い福祉士」にかける熱い想いから、  
笑いとお会って人生が変わった「お  
笑い福祉士」の人たちの横顔、さ  
らにお笑い芸の基本講座や創作落  
語の傑作集まで、いわば「お笑い  
福祉士」の基本テキストともいえ  
る豊富な内容となっている。

現在、「お笑い福祉士養成講座」

は、徳島、高松、大阪、姫路、和  
歌山など西日本各地で開催され、  
受講者は、老若男女、様々な職種、  
立場の方たちが集まる。

「お笑い福祉士」には段位があり、  
養成講座を受講すれば誰でも取得  
できる6級にはじまり、3級は  
「1人で施設を訪問できる」、2級  
は「學光氏の前座ができる」、1級  
は「プロに近い人で独演会ができ  
る」、さらに「プロになれる?」初段、  
「もう教えることがない」2段、「學  
光氏の師匠になってもらう」3段  
となっている。級の認定は、養成  
講座の修了時に外部の審査員を交  
えた複数により協議され、決めら  
れる。

「お笑い福祉士」の活動は、養成  
講座が開催された各教室を拠点に  
広がりを見せている。介護施設を

はじめ障害者施設や病院、デイ  
サービス、グループホーム、地域  
の敬老会等々、訪問する場所も広  
がり、講演の依頼も増えている。

「笑い」が健康に及ぼす効用は、  
医学的にも注目され、多くの研究  
が進められている。認知症の予防  
にも「笑い」が有効であるともいわ  
れる。「お笑い」は、笑顔のあふれ

る毎日へと誘い、人生のスキルアッ  
プが図れるとの學光氏の思いは、  
的を射ている。

「お笑い福祉士全国の会」による  
プログラム「お笑い介護道場」が、  
3日(日)に開催される。当日は展  
示エリア(大阪産業創造館3階)の  
「ブックコーナー」のスペースにて、  
本書の販売がある。

#### ●著者プロフィール 笑福亭 學光

1954年生まれ。徳島県阿南市出身。  
1975年、笑福亭鶴光に入門。銀行員から  
落語家になった異色派。神戸柳笑亭で初  
舞台。地域寄席、老人ホーム、知的障害  
者施設、離島などで上方落語の普及に努  
める。弁護士・井口博氏と環境寄席、趣味  
が高じて水中寄席。落語会の売上金で、  
中国の小学校に机・椅子を贈る希望寄席。  
1999年からは、北京寄席を開催。



『めざせ!お笑い福祉士~豊かな人生の生きがい』

- 著者：笑福亭 學光
- 発行：浪速社
- 四六判/並製/196頁
- 定価：本体1,333円+税
- ISBN 978-4-88854-460-3



Today's Highlight

高瀬 比左子×若野 達也

「助けて」の一言が  
地域を巻き込む

——まず、若野さんの現在の活動についてお聞かせください。

**若野** 私が小学5年生のときに祖父が認知症になりました。制度はあっても社会が受け入れてくれず、その状況が私には入らなかった。2000年代になり、若年性認知症の方と出会い、彼らが祖父と同じような状況におかれていることを知りました。そこで、若年性認知症の方と彼らの居場所をつくるために動くことにしました。さらに、取り組みを続けるなかで、活動の方向性を若年性認知症の人にやさしい町づくりではなく、地域住民にやさしい町づくりへと変えました。

**高瀬** 介護保険の枠内で利用者にサービスを提供し続けるのは、限界があります。介護職は地域を見据えて利用者を支えることを考えていかなければなりません。そうしたなか、若野さんがどのように

して地域を巻き込んでいるのかは、多くの人が興味を持っているのではないのでしょうか。

**若野** 今の状況を見てみると、介護保険は持続可能ではないとわかります。軽度者は介護保険ではなく、市町村が支えることになりまが、そのための準備が地域ではできていません。若年性認知症の方々の中には国に変化を求められるよりも、自分たちが必要なものをつくっていったほうが良いと言います。だから、私が先々を考えているというよりも、彼らの声を聞き、一緒につくっているに過ぎません。——国の意向に左右されるのではなく、自分たちで地域をつくるのは大変そうですね。

**若野** これまで福祉も農業も国から補助等をもたらっていました。しかし今の取り組みにおいては、自分たちで収益を上げようとしています。それをもとに、自分たちが

望んでいる社会資源をつくる。今までは考え方を変えて取り組みなければ達成できません。

**高瀬** 私もkaigoカフェという場をつくっていますが、ファンリテーターにも同じような役割が求められていると感じています。

**若野** 私たちの活動に参加を希望する人のなかには、新しい活動や楽しそうな活動ならやりたいという人もいます。実際の私たちの活動は地味なのですが、そこにギャップを感じます。

また、地域のためではなく、自分のステップアップのためという人もいますね。高齢者は人を見る目が肥えているので、自分自身のために町づくりに携わる人はすぐに見抜いてしまいます。

**高瀬** 地域に新しく入って来た人は、どうしても自分たちだけで何かをやりたいがります。でも、地域づくりにおいては、地域の人を主役にしなければなりません。そこが難しい点の一つです。

地域においては若野さんのような役割はとても大切ですが、収益の見込みを立てるのがなかなか難しい点も課題です。

**若野** 私は地域の高齢者の力を借



りています。高齢者は地域での人脈を豊富に持っていますし、お金はもらえなくても地域に貢献したいと強く思っています。彼らが味方だと、とても心強いです。

地域で活動するうえで、変に小利口にならずに、いい意味で「馬鹿」になることも大事。できないことはできないと言いつつ、助けてほしいと言えば、地域の人は助けてくれます。

**高瀬** 助けてときちんと伝えるのがすごい。これまでのリーダーは周囲を引つ張るカリスマ的な存在でしたが、若野さんのような方が新しいリーダー像かもしれません。

○引用先:「介護ビジョン」2016年5月号

**たかせ・ひさこ**  
介護福祉士・社会福祉士・介護支援専門員。2012年より「未来をつくるkaigoカフェ」を開始。介護関係者のみならず、多職種を交えた活動にはこれまで延べ3,000人以上が参加。小中高への出張カフェや、一般企業や専門学校でのキャリアアップ勉強会等の設立支援も行う

**わかの・たつや**  
1973年生まれ。96年、日本福祉大学卒業。2004年、グループホーム古都の家学園前を設立。09年、若年性認知症サポートセンター「絆や」を設立。介護支援専門員、精神保健福祉士

# 介護現場の課題と経営

7月4日① 会場：大阪産業創造館 4階イベントホール

介護現場が地域を支えていくうえで、どんなことが必要なのか。

今、解決しなければならない課題は何か。「介護と地域づくり」「介護と子どもの教育」を踏まえて、介護現場がどのように現状を打破していくのか探っていきます。

時間	内容	講演者
10:00 ▼ 12:00	シンポジウム① 「選択する最期 ～エンディングを支える介護をめざして～」	「納棺」 木村光希(おくりびとアカデミー代表) 「お食い締め」 牧野日和(歯学博士、言語聴覚士、認定心理士) 「ビハーラケア」 河原至誓(社会福祉法人明照会理事長、浄土真宗本願寺派円徳寺副住職) 【コーディネーター】 中浜崇之(NPO法人Ubdobe)
13:00 ▼ 15:00	在宅医療カレッジ大阪校《有料》 「高齢者の低栄養とチーム医療・チームケア」	田貝 泉(南港病院 栄養科 科長) 時岡奈穂子(はみんく南河内代表) 【コーディネーター】 佐々木淳(医療法人悠翔会理事長)
15:30 ▼ 17:00	シンポジウム② 「介護福祉経営士がデザインする新しい介護福祉」	石本良樹(関西支部、社会医療法人美杉会 法人事務局人事部長代行) 洪 東基(関西支部、医療法人同友会共和病院 医療福祉課課長) 岩本昌樹(九州支部、社会福祉法人くだまつ平成会理事長代行) 神内秀之介(北海道支部、社会福祉法人湊仁会 事業推進部次長調査企画室長) 【コーディネーター】 横井孝治(関西支部理事、株式会社コミュニケーター代表取締役)
17:00 ▼ 17:30	閉会式	

同時開催

セミナーエリア：大阪産業創造館6階(定員100人)

時間	内容	詳細
10:00 ▼ 12:00	介護経営セミナー①《有料》 「大激変! 2018年トリプル改正の準備と 今から始める介護保険外サービス」	小濱道博(小濱介護経営事務所代表)
12:30 ▼ 13:30	介護経営セミナー②《有料》 「介護甲子園グランプリ事業所に学ぶ 利用者も職員も元気の介護現場の条件とは」	左 敬真(一般社団法人日本介護協会理事長)
14:00 ▼ 15:00	介護経営セミナー③《有料》 「介護経営とファイナンス」 3つの事業の資金計画 ①訪問看護ステーション、②放課後デイ、③サ付き住宅	大藪直史(日本クレアス税理士法人大阪本部 上田公認会計士事務所介護経営コンサルタント・介護福祉経営士)

同時開催

展示エリア：大阪産業創造館3階 特設ステージ(定員80人)

時間	内容	詳細
10:00 ▼ 12:00	プロに学ぶ介護トレーニング 「あたらしい介護技術を学ぼう」	貝塚誠一郎(貝塚ケアサービス研究所代表)
13:00 ▼ 15:30	プレゼンテーション・セミナー	協賛企業によるミニセミナー

Today's Highlight

佐々木 淳

医療法人社団悠翔会 理事長

# 患者、家族、多職種全員が満足する 在宅医療の仕組みづくりが必要

私

たちが目指すのは、1人の在宅医が200〜300人の患者さんを余裕を持って診ることができ、患者さんもご家族も多職種も全員が満足する、という在宅医療。そのための仕組みをつくっていかねばいけないと思っています」

医療法人社団悠翔会の理事長、佐々木淳氏は言う。佐々木氏が率いる同法人は現在、東京都港区、新宿区、葛飾区、品川区、足立区、埼玉県川口市、越谷市、神奈川県川崎市、千葉県柏市の一都三県に9つの在宅医療特化型診療所を展開している。常勤換算で30人の医師のほか、歯科医師や看護師、管理栄養士、歯科衛生士などの多職種が在籍する。都内でも屈指の在宅医療グループとして成長を続ける同法人であるが、2006年に開業した当時は佐々木氏1人で、数多くの在宅患者を診ていた。

在宅医療においては夜間対応の

品質が大事だという考えから、ほかの医師には任せられなかったからだ。その結果、5年半にわたって24時間365日体制でオンコールを受け持った。「夜間で失敗はできない」という思いが佐々木氏を突き動かしていたが、次第に体力がもたなくなり、日中の訪問診療にも悪影響が出るようになった。日中の診療の質が下がると夜間の急変も多くなる――。こうした負のスパイラルに陥った末、「このままでは続かない」と、別の医師に夜間対応を任せることを決断し、複数医体制による持続可能な在宅医療の仕組みづくりに着手した。

一方で、高齢化が急激に進展するなか、今のままの医療では爆発的に増える高齢者を支えきれないという危機感も持っていた。国は、在宅医療に従事する医師の数を増やす方針を掲げ、診療報酬の面か

らも政策誘導を行っているものの、思うように在宅医は増えていない。医師1人ひとりの努力に依存する在宅医療システムの難しさは佐々木氏自身も経験していた。

だからこそシステム化が必須であり、本場に機能する仕組みを現場主導のボトムアップでつくっていく必要性を痛感していた。

実は、佐々木氏がシステムでの対応にこだわるのにはもう一つ理由がある。それについて、こう語る。「医師の本来の役割は、『命を守ること』だと考えています。究極的には人々が病気になるらないように教育していく予防医学に力を入れるべきであり、今のよう急性期医療に医師が偏りすぎているのはいびつな構造です。一方で、私が従事している終末期医療についても、多くの医師を配置すべき分野かと問われると、そうは思いません。誤解を恐れずに言うと、終



末期は医療によって運命を変えられない状態であって、予防・急性期・終末期の3つに分けると最も非生産的。人生の最終段階を医療面から支えるという意味で必要な仕事ではありませんが、そこまで多くの人員を割くべきではないというのが持論です。そこで、限られた医師数のなかでより多くの高齢患者さんに対応できる体制をつくるのが求められていくと思えます」

医療を受ける患者本人、その家族だけではなく、従事する医師、そこにかかわる多職種が満足できるような新たな在宅医療のあり方の提示に佐々木氏は挑戦している。

ささき・じゅん

1973年、京都府生まれ。98年、筑波大学医学専門学群卒業。同年、三井記念病院研修医。2000年、同院消化器内科入局。06年、MRCビルクリニック開設。08年、医療法人社団悠翔会開設、理事長就任





Today's Highlight

左 敬真  
一般社団法人日本介護協会理事長

# 全国に「自分が受けたい。家族に受けさせたい介護」を広げる

**も** ともと建築家をめざして  
ました。それが一転、介護

業界で起業することになった。きっかけは、設計の勉強の一環として、高齢者の住環境を知るために特別養護老人ホームを見学に行ったことです。臭いがしたり、入居者がほったらかしにされるなど、ひどい状態でした。「自分が受けたい。家族に受けさせたい」と思えるような介護のインフラづくりに貢献したいという強い使命感が湧いてきたのです。

卒業と同時に会社を設立し、訪問介護事業所を開設。結束力が高い素晴らしい組織ができていきましたが、店舗数が増えるとともに、離職率が高くなっていました。原因は、私が現場から離れたこと。経営者としての時間が増え、付き合うのは専ら管理者ばかりという状態になっていました。

当時、私は20歳代。経験豊富な

管理者は、そんな若造の言うこと

など聞くはずありません。各管理者が好きなように解釈し、勝手な運営を始めました。かといって、管理者の意識が高いわけでもありません。やる気のあつたスタッフは「理念と違う」と辞表を出す。また、新しい管理者が来れば方針が変わるので、現場のスタッフが辞めていくといった悪循環に陥り、設立5年目には離職率は7割に達してしまつたのです。

不満の原因は「社長が現場を知らないのに指示していた」「現場を見に来ないで管理者任せにしていた」といった、私と現場のかかわりの部分でした。私の思いを話すと、「そういう思いでやってきたのなら、まだ続けられそうな気がする」と言ってくれた社員が大勢いました。

まず、理念から考え直しました。「自分が受けたい・家族に受けさせたい介護」という理念があつたの

ですが、いつのまにか、「左敬真が受けたい介護」になつていたので

す。みんなに謝り、「会社はみんなの人生を豊かにするためのツール」であり、ツールとして使うためには、みんなが会社を磨かなければならない。本気で幸せになろうと思わなければ、誰も手伝つてくれないといった価値観の共有から再スタートしました。原点回帰です。それによって、理念は同じですが、自身は、それぞれの社員が受けたい介護、家族に受けさせたい介護になつていったのです。

社風が変わつてくると、私が現場に呼ばれる理由も変わってきました。以前は「手が足りなくて大変だから何とかしてほしい」でしたが、現在では「自分たちのアイデアを聞いてほしい」といった内容になつてきました。

60歳代では、長時間のレクリ



ひだり・ひろまさ

2002年、芝浦工業大学大学院建設工学科修了後に株式会社いきいきらふを設立。訪問介護事業所や居宅介護支援事業所、デイサービスのほか、フランチャイズビジネスとして、入浴特化型デイサービス「いきいきらふSPA」を展開

○引用先：「介護ビジョン」2014年6月号



『介護経営白書2016・2017年版』  
**介護福祉新時代の“到来”**  
今、注目されるニューリーダー11人の発想と人材育成術

一億総活躍社会の実現、日本経済の課題解決へ向けて「経済・財政再生計画」が示された。介護分野においては「医療・介護提供体制の適正化」「インセンティブ改革」「公的サービスの産業化」「負担能力に応じた公平な負担、給付の適正化」という方向性が打ち出され、今後、介護保険、高齢者福祉政策の流れを大きく変えていくと考えられる。また、高齢者のニーズは、団塊世代の価値観が主流となり、ICTや科学技術の活用により介護サービスのあり方も変化していくと予測される。

このような大転換期のなか、各地で従来の価値観にしばられない新しい発想の介護サービスが生まれている。今後はこうした常識を覆す視点が介護経営にはますます必要となっていくのである。新しい介護の価値観をつくり出すニューリーダーに焦点をあて、介護経営に必須の人材について徹底検証していく。



『介護経営白書2016-2017年版』

- 編集委員代表  
多田 宏  
(日本介護福祉経営人材教育協会代表理事)
- 編集委員  
青木 正人  
(株式会社ウエルビー代表取締役)  
川淵 孝一  
(東京医科歯科大学大学院教授)
- 企画・制作  
ヘルスケア総合政策研究所
- B5判/並製/236頁
- 定価：本体価格：4,000円＋税
- ISBN 978-4-86439-462-8

**介護を変える 未来をつくる**  
カフェを通して見つめるこれからの私たちの姿

「介護の仕事」はホントに3K!?!  
同じ悩みを抱える仲間が集まると、  
ともにめざす夢や希望が見つかった

「自信を失いかけていた今の自分を変え、“自分らしく働く”ことは簡単なことだよ」と、ちょっとしたきっかけが自身を変え、未来をつくりだすことができる。そんなプライドとエネルギーを回復させるための1冊。



- 高瀬比左子(未来をつくるkaigoカフェ代表)
- A5判/並製/208頁
  - 定価：本体価格1,500円＋税
  - ISBN 978-4-86439-465-9 C3036

子どもたちに  
「介護のほんとう」を  
伝える本 **介護ってなに？**

介護とは何か、なぜ必要なのか、それはお年寄りをよく知ることから始まる

子どもたちの多くが、高齢者に接する機会がどんどん失われている。高齢者から学ぶべき「人間の老いや人間の死」を知ることができない子どもたち。

そんな子どもたちに、「介護の実情を伝えたい。」

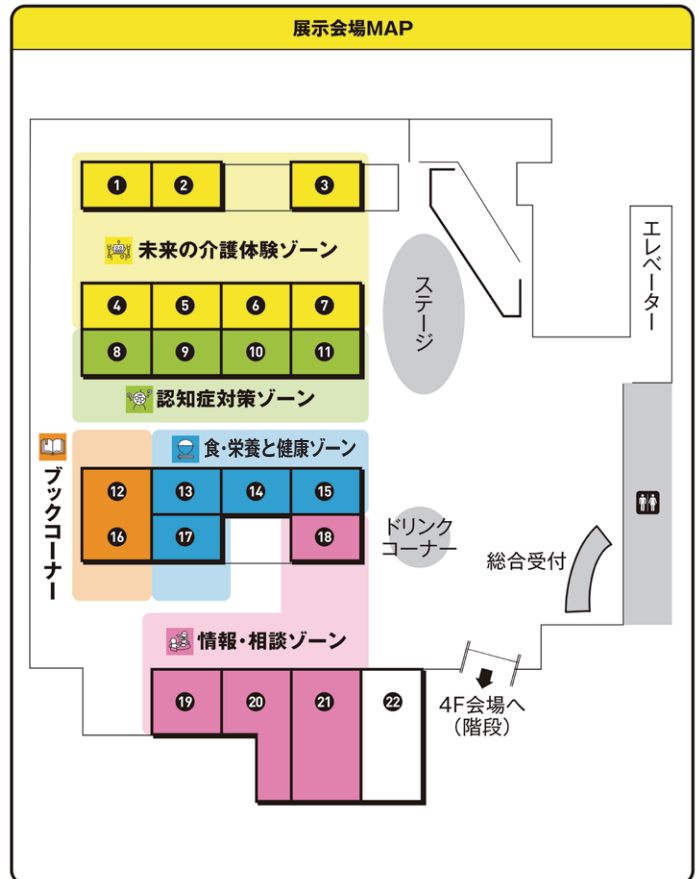
「そもそも介護って何?」「どんな人が介護が必要になるの?」「老いるってどういうことなの?」「介護があることで良いこと、悪いことは何?」など、介護の現実を伝えることを通して、明るい未来をつくるために必要なことを見つける1冊。



- 平尾俊郎 著  
日本医療企画 教育・出版事業本部 企画編集
- A5判/並製/52頁
  - 定価：本体価格500円＋税
  - ISBN 978-4-86439-483-3 C0037

# 展示エリアパーフェクトガイド

ゾーン・コーナー	ブース	名称
 未来の介護体験ゾーン	①	株式会社ピオネスト
	②	NDソフトウェア株式会社
	③	大和ハウス工業株式会社
	④	株式会社エスケーエレクトロニクス
	⑤	大阪市立淀商業高等学校
	⑥	NPO法人 24時間みまもり社会を創る会・笑顔
	⑦	株式会社樋原製作所
 認知症対策ゾーン	⑧	株式会社ソフトアップJ
	⑨	認知症パネルコーナー
	⑩	公益社団法人 大阪介護福祉士会
	⑪	パナホーム株式会社
 食・栄養と健康ゾーン	⑬	イーエヌ大塚製薬株式会社
	⑭	日清オイリオグループ株式会社
	⑮	株式会社舞昆のこうはら
 ブックコーナー	⑯	太陽化学株式会社
	⑰	有限会社ワニコ書店
 情報・相談ゾーン	⑱	有限会社浪速社
	⑲	一般社団法人シニア総合サポートセンター
	⑳	株式会社コミュニケーター
	㉑	大阪府
	㉒	一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会
	㉓	一般社団法人介護福祉指導教育推進機構 月刊「最新介護経営 介護ビジョン」
	㉔	フェスティバル事務局



## ● 未来の介護体験ゾーン

最新技術を活用すれば、介護を取り巻くさまざまな課題が改善されるはず。未来の介護を支える最新のテクノロジーをご紹介します。ロボットに触れ、体験することで未来の介護が見えてくるはずです。超高齢社会を担う未来の介護人材を育成する研究課題もご紹介します。

## ● 認知症対策ゾーン

2025年の認知症患者は、現状の1.5倍となる700万人を超えるとの推計が厚生省から発表されました。認知症の前段階である軽度認知障害(MCI)患者数を加えると、約1300万人となり、65歳以上の3人に1人が認知症患者とその予備軍となります。認知症に対する正しい知識、予防方法、また、介護が必要になっても自分らしい生活を実現するための環境づくりをご提案いたします。

## ● 食・栄養と健康ゾーン

「食を摂ること」は「生きること」。高齢者の栄養摂取とリハビリテーションは、不可分です。できる限り要介護状態にならない、重度化しないための食・栄養と健康づくりを提案します。介護食、低栄養予防食、サプリメントの紹介ほか、試食もご用意しております。

## ● ブックコーナー

介護、認知症に関する本の他、各セミナー講師が執筆した本、7月3日のトークショーに出演の俳優石倉三郎さんエッセイ本『粋に生きるヒント』、同日、お笑い介護道場出演の笑福亭學光さんの本『めざせ！お笑い福祉士』も販売いたします。

## ● 情報・相談ゾーン

介護でお困りのことはとかく他人には相談できないもの。そんな悩みに法律家に対応いたします。また、介護の知識、資格取得についての情報、大阪府の取り組みなども詳しくご紹介いたします。



●未来の介護体験ゾーン……………3

**大和ハウス工業株式会社**

◆出展内容

大和ハウス工業は、これまで住宅（戸建住宅・賃貸住宅・分譲マンション）150万戸超、商業施設3万6千棟以上、医療・介護施設5千棟以上を供給し、「人・街・暮らしの価値共創グループ」として、「ア（安全・安心）・ス（スピード・ストック）・フ（福祉）・カ（環境）・ケ（健康）・ツ（通信）・ノ（農業）」をキーワードとした経営の多角化にも積極的に挑戦しており、「プラス2、プラス3の事業」の創出に努めています。介護職員の腰痛予防や排泄介護の負担軽減、認知症の方のQOL向上、難聴者への聞こえや施設内の衛生改善など、おもに「フ（福祉）」の分野でお客様の「お困りごと」を解決するために提案しているロボット福祉機器を展示します。



卓上型会話支援システム comuoon SE  
開発・製造ユニバーサル・サウンドデザイン

●問い合わせ先

大和ハウス工業株式会社  
〒530-8241 大阪市北区梅田3-3-5  
☎06-6342-1565  
URL : [www.daiwahouse.co.jp/robot](http://www.daiwahouse.co.jp/robot)

●未来の介護体験ゾーン……………1

**株式会社バイオネスト**

◆会社概要

弊社は2008年に創業し、「笑って楽しく」という事業コンセプトの下、地域社会の皆様に支えられ、大阪・兵庫18拠点で運営しております。

◆出展内容

人工筋肉の補助で腰への負担が1/3に軽減される外骨格型の装着型動作補助装置、「マッスルスーツ」をご案内いたします。

◆見どころ

弊社のブースではコンプレッサを使用し、最大補助力30kgfの「標準モデル」と、コンプレッサを使用せずに軽量化し、最大25Kgfの補助力を実現させた「スタンドアローンモデル」の2種類をご用意しております。腰への負担軽減をぜひ体感してみてください。

●問い合わせ先

株式会社バイオネスト  
〒651-0087  
神戸市中央区御幸通2-1-6  
☎078-261-8787  
URL : <http://wらく.com>



●未来の介護体験ゾーン……………4

**株式会社エスケーエレクトロニクス**

◆会社概要

エスケーエレクトロニクスは、2001年に前身の株式会社写真化学からエレクトロニクス事業部門を分割して設立した、フォトマスクメーカーです。新たな事業分野として、2014年にヘルスケア事業を立ち上げました。

◆出展内容

「SEM Glove (セムグローブ) 自立支援用」は指の先端の圧力センサーが、物を握ろうとする動作と同時にモーターが駆動し「にぎる」力をサポートします。より直感的な動作と日常生活に寄り添うことができるウェアラブルロボットです。

◆見どころ

弊社ブースにて、SEM Gloveのデモを行っております。是非、お立ち寄りいただき、実際に装着して体感してください。

●問い合わせ先

株式会社  
エスケーエレクトロニクス  
〒613-00035  
京都府久世郡久御山町下津屋富ノ城62番地1  
☎0774-44-7729  
URL : <http://www.sk-el.co.jp>



●未来の介護体験ゾーン……………2

**NDソフトウェア株式会社**

◆会社概要

福祉・医療関連オリジナルソフトウェアロダクトの企画・開発・販売およびソフトウェア運用支援・ソフトウェア保守サービス。自社開発の福祉業務支援ソフトウェア「ほのぼの」シリーズの販売および運用サポート

◆出展内容

・医療福祉の業務支援ソフト「ほのぼの」シリーズ  
・看取り現場を支援する「看取り支援器」

◆見どころ

記録はできているのに活用や情報共有はイマイチの事業所様、必見！福祉事業所様向けシステム「ほのぼの」シリーズによる情報の入力・活用・共有をご提案します。ICT活用により業務の効率化もアップ！

●問い合わせ先

エヌ・デーソフトウェア株式会社  
〒992-0479 山形県南陽市和田3369  
☎238-47-3477 (代表)  
関西第一営業所 : 〒532-0011  
大阪府大阪市淀川区西中島6-1-1 新大阪プライムタワービル15F  
☎06-4805-5060 URL : <http://www.ndsoft.jp/>



●未来の介護体験ゾーン……………7

株式会社樋原製作所

◆会社概要

弊社は1960年創業で、1980年から約30年間、多関節ロボット開発に参画してアーム、駆動軸ケース等の高精度加工を行って来ました。現在は、その技術を応用して各種医療機器部品の加工を行っています。

◆出展内容

シリンジポンプ等を取り付けた点滴ポールスタンドを車椅子に連結する、後方連結型点滴ポールスタンドキャッチャーと点滴バッグを吊り下げる点滴アームを点滴ポール内に伸縮・収納できる車椅子取付型点滴ポール



◆見どころ

車椅子に点滴ポールスタンドをワンタッチで連結できる、「商品名:スマートキャッチャー」と自然落下することなくスムーズに伸縮、点滴アームを折りたたんで収納できる、車椅子取付型の「点滴ポール」

●問い合わせ先

株式会社 樋原製作所  
〒590-0153 大阪府堺市南区大庭寺611-3  
☎072-293-1111 URL: <http://www.hibara.jp/>

●未来の介護体験ゾーン……………5

大阪市立淀商業高等学校

◆概要

本校は、商業科、福祉ボランティア科を併せもつ職業学校として、実学を重んじたキャリア教育を実践し、多くの体験学習を通じて専門的な知識や技術を身につけています。  
2003年度に開設した福祉ボランティア科は、大阪府内の公立高校で唯一の「福祉に関する専門学科」であり、これからの超高齢社会を担う「福祉に関するスペシャリストの育成」および「国家資格である介護福祉士の合格」を目標としています。

◆出展内容

文部科学省(2015年度)より、スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール(SPH)の指定を受けた研究開発課題を紹介。  
<課題名> 「超高齢社会を迎えて新たな価値を創造できるバリュークリエイターの育成」～2025(H37)年を支える地域福祉におけるリーダー的存在へ～

◆見どころ

福祉教材体験コーナーも用意しています



●問い合わせ先

大阪市立淀商業高等学校  
〒555-0024 大阪市西淀川区野里3-3-15  
☎06-6474-2221

●認知症対策ゾーン……………8

株式会社ソフトアップJ

◆会社概要

PC/IT/FAに関する開発/制作/運営技術を基に当社運営介護施設のニーズより介護ロボット・介護検査装置・iPad/iPhone等の開発及び認知症や脳梗塞発症後遺症などの予防・回復訓練等の生体デバイス研究・関連商品の開発を進めています。

◆出展内容

脳ぼち、大画面27インチタッチパネル媒体を使用した認知症・脳梗塞発症・精神疾患向けのトレーニング予防と早期発見を行うトレーニング媒体装置。

◆見どころ

近年認知症リハビリにて認知行動療法や回想法の取り組みが多いなか本装置では短期記憶障害予防と早期発見への取り組みを行っています。また、本装置では日々認知レベルの評価を行う新たな技法の開発を進めています(特許出願済)。



●問い合わせ先

株式会社ソフトアップJ  
〒542-0086  
大阪市中央区西心斎橋1-5-12  
☎06-6251-1361  
URL: <http://www.noupochi.com>

●未来の介護体験ゾーン……………6

NPO法人24時間みまもり社会を創る会・笑顔

◆法人概要

介護離職・孤独死ゼロの実現に向け、みまもりバイタルロボットと独自開発のIoT端末の最先端IT技術を活用し、ご高齢者やご家族を含め、住み慣れた地域で24時間安心して生活し社会活動が継続できるよう活動しています。

◆出展内容

非接触型みまもりバイタルロボット「ベッドタイプ」「ルームタイプ」「IoT端末」のご案内  
呼吸・脈拍・体動のバイタル値に異常が発生した場合、IoT端末からネットワーク環境を通じ、管理用パソコン・スマホへの自動通知システムです。



◆見どころ

みまもりバイタルロボットは双方向通信が可能。カメラは設置せずに、24時間呼吸・脈拍・体動のバイタル値を測定。異常発生時の自動通知に加え、スマホからもリアルタイムで健康状態の確認が可能です。

●問い合わせ先

特定非営利活動法人 24時間みまもり社会を創る会・笑顔  
〒540-0036 大阪市中央区船越町1-3-5 マーキュリー愛好ビル4F  
☎06-6948-6988 URL: <http://www.egao24h.com>



●認知症対策ゾーン ..... 11

パナホーム株式会社

◆会社概要

パナホームは介護保険施行以来、全国に約1500ヶ所を超える医療・介護建築をサポートしてきました。高齢者が住み慣れた街でいつまでもくらし続けられる住環境をつくる「高齢者住環境創造企業 No.1」をめざします。

◆出展内容

- ・建築実例紹介・認知症配慮 ケア付高齢者住宅「グランマ」
- ・パナホームグループ独自のサブリース「ケアリンクシステム」

◆見どころ

認知症配慮 ケア付高齢者住宅「『グランマ』」は、認知症特有の症状・行動に配慮した建物プラン・生活プラン。そしてこれを実現するスタッフ配置計画まで考えた新しい商品です。また、高齢者住宅事業を実現するため、事業者様とオーナー様とを繋ぐ独自のサブリース「ケアリンクシステム」も会場でご紹介します。パナホームグループが総力をあげ、貴事業所の開設をサポートします。



◆問い合わせ先

パナホーム株式会社  
〒560-8543  
大阪府豊中市新千里西町1丁目1番4号  
☎06-6834-3818  
URL : <http://www.panahome.jp/mw/>

●認知症対策ゾーン ..... 9

認知症パネルコーナー

パネルコーナーでは多くの人に認知症への理解を深めていただくために、症状・種類・対応策など様々な内容でわかりやすくパネル展示を行います。

**認知症とは**  
認知症とは、脳や身体の変容によって脳の神経機能が弱ってしまい、記憶力が大幅に低下する「認知機能」や判断力、集中力、人付き合いなどが低下する「行動機能」が、日常生活の中で徐々に低下していき、日常生活を送ることが困難な状態です。  
国内では2012年に465万人の認知症の人がいると推定され、2025年には700万人を突破すると推定されています。高齢者全体の約4割の70歳、2030年には7470万人になると予測されています。

**認知症と単なるもの忘れとの違い**  
加齢によるもの忘れと認知症によるもの忘れは異なります。  
認知症によるもの忘れは、継続した記憶の一部が空けても、ヒントがあれば思い出されます。認知症によるもの忘れは継続してものを忘れてしまい、ヒントがあっても思い出せません。

**「認知症によるもの忘れ」と「加齢によるもの忘れ」の違い**

認知症によるもの忘れ  
記憶の帯  
体験の流れ  
抜け落ちる

加齢によるもの忘れ  
記憶の帯  
体験の流れ  
健康なもの忘れ（記憶の一部を忘れる）

●ブックコーナー ..... 12・16

有限会社ワニコ書店

当社は三重県内で唯一の医学書の専門店です。今フェスティバルでは、介護・福祉関連の書籍をはじめ、講演会やシンポジウムにご登壇される方々の著書、2日目のシアタータイムにご登壇いただく石倉三郎さん(俳優)の『粹に生きるヒント』(KKロングセラーズ)など、多くの書籍を陳列しております。当日は書籍の購入も可能となっておりますので、ご来場の際はぜひお立ち寄りください。

有限会社浪速社

昔から「病は気から」と言われているように、元気な高齢者は健康的な方が多く、笑うことは認知症予防にも効果的です。落語家の笑福亭學光さんは、笑いを届けるボランティア芸人「お笑い福祉士」という民間資格を認定し、福祉施設などを訪問しています。今では、300人が資格を取得し活躍しています。ブースでは、笑福亭學光さんの『めざせ！お笑い福祉士』を販売します。(7月3日のみ)



●認知症対策ゾーン ..... 10

公益社団法人大阪介護福祉士会

◆法人概要

職能団体として、質の向上のための事業を展開し、府民に対し介護に関する理解と知識の普及を図り、また、要介護者・その家族・地域等を支援するとともに、介護福祉士の専門性の確立を目指し、福祉の増進に寄与します。

◆出展内容

- ① 本会の目的・趣旨に賛同していただいた方への入会案内及び紹介
- ② 介護福祉の質の向上のために行う、研修事業の案内とお知らせ
- ③ 当会の活動に関する広報誌の紹介
- ④ 介護に関するいろいろな相談

◆見どころ

- ① 五感で楽しむ介護②『介護の良さを伝える』ために、最近メディアでも活躍中のたこ焼きちゃん(本名：大福 太合幸)との撮影会
- ③『みんなの感じる介護』についての寄せ書きコーナー
- ④ 自己研鑽への書籍紹介

◆問い合わせ先

公益社団法人大阪介護福祉士会  
〒542-0012  
大阪府大阪市中央区谷町7丁目4番15号  
☎06-6766-3633  
URL : <http://kaigo-osaka.jp/join.htm>



●食・栄養と健康ゾーン ..... 15

株式会社舞昆のこうはら

◆会社概要

大阪名物、昆布佃煮の製造販売「株式会社舞昆のこうはら」は、農林水産大臣賞受賞の発酵昆布「黒舞昆」をはじめ、300種類を数える昆布佃煮の品揃えを誇っています。健康な食卓に欠かせない和食の原点、昆布の力で健康長寿をサポートします。

◆出展内容

海の飲むサラダ「レモデール」。水溶性食物繊維たっぷりのドリンクが試飲できます。腸内環境を整えることで、花粉症や皮膚の炎症も治まり、美肌効果も期待！  
続けて飲んでいただけるよう爽やかなレモン味に仕上げました。

◆見どころ

昆布の成分知れば知るほど…体が喜び驚きのパワー発見！  
ex：お通じで悩んでいる方に昆布のぬるぬる成分をジュースにして飲んでもらったら「スルスルと出た！」「頑固だったのがウソみたい」「お肌がツルツルに」など、喜びのお声が多数寄せられました。あなたもお試しあれ！

◆問い合わせ先

株式会社舞昆のこうはら  
〒559-8502  
大阪市住之江区東加賀屋1-3-40  
☎06-4702-1101  
URL：http://www.115283.jp/



●食・栄養と健康ゾーン ..... 13

イーエヌ大塚製薬株式会社

◆会社概要

イーエヌ大塚製薬は大塚グループの一員として、医薬品の経腸栄養剤や病気の方や高齢の方の病態・状態を考慮した各種食品、口腔ケア用品の製造・販売を通じて、『栄養ケアのサポーター』として医療や健康に貢献しています。

◆出展内容

噛むことが難しい方の食事として開発された最新の介護用食品「摂食回復支援食あいーと」と口腔ケアを行う時の必需品、口腔ケア用ジェル「リフレケアH」をご紹介します。

◆見どころ

「摂食回復支援食あいーと」は、見た目は普通の食事なのに、肉も野菜も舌でくずせる軟らかさ。プロの料理人による本格的な味付けと、和・洋・中の豊富なメニュー。見る・香る・味わう楽しみをぜひ一度ご体感ください。

◆問い合わせ先

イーエヌ大塚製薬株式会社  
〒025-0312  
岩手県花巻市二枚橋第4地割3-5  
☎0198-26-5261  
URL：https://www.enotsuka.co.jp/



●食・栄養と健康ゾーン ..... 17

太陽化学株式会社 メディケアグループ

◆会社概要

太陽化学株式会社は、研究開発を重視した食品原料メーカーとして、エビデンスに基づく機能性食品素材を医療・介護分野にご提案します。

◆出展内容

- サンファイバー  
全国の医療機関や高齢者施設で広く採用されている水溶性食物繊維サプリメント。  
下剤に頼り過ぎないケアを応援します。
- テア眠  
良眠アミノ酸[L-テアニン]を配合した機能性表示食品。  
L-テアニンが夜間の良質な睡眠をサポートします。

◆問い合わせ先

太陽化学株式会社  
〒105-0013  
東京都港区浜松町1-6-3  
☎03-5470-6801  
URL：taiyo-medi.com



●食・栄養と健康ゾーン ..... 14

日清オイリオグループ株式会社

◆会社概要

日清オイリオグループは、創業以来100年以上の長きにわたり、食物が持つ3つのチカラ、「おいしくするチカラ」「健康にするチカラ」「美しくするチカラ」を最高の技術によって引き出し、世の中にお届けさせていただいております。これからも「おいしさ・健康・美」の追求を通して社会に貢献します。

◆出展内容

低栄養対応食品・トロミ調整食品・腎臓疾患対応食品・泌尿器科対応食品等多岐にわたる商品群をご提案させていただいております。今回は日清MCT関連商品を中心に展示させていただきます。

◆見どころ

今、話題の日清MCTを中心に試食もご用意させていただきます。また、「あつというまぜりー」のしゅわしゅわぜりー（炭酸水ぜりー）をご体感していただけますよう、弊社ブースにお立ち寄りください。

◆問い合わせ先

日清オイリオグループ株式会社  
〒104-8285  
東京都中央区新川一丁目23番1号  
☎03-3206-5636  
URL：www.nisshin-oillio.com



●情報・相談ゾーン ..... **20**

**大阪府福祉部**

◆概要

急速に進む少子高齢化。団塊の世代が全て75歳以上となる2025年には、全国で約37万7千人もの介護人材が不足すると見込まれています。この深刻な介護人材不足に対応し、介護が必要になっても住みなれた地域で安心して自立した生活を送ることができるよう、大阪府では介護人材確保に全力で取り組みます。

◆出展内容

大阪府が介護人材確保のために取り組んでいる様々な事業をご紹介します。介護職員として働くための基本的な資格となる「介護職員初任者研修」の受講料の一部を補助する「介護職員初任者研修受講支援事業」など。その他、介護予防や認知症対策などのパネル展示やパンフレットも配付。

●問い合わせ先

大阪府福祉部 地域福祉推進室  
〒540-8570 大阪市中央区大手前2丁目  
☎06-6944-0286  
URL : [http://www.pref.osaka.lg.jp/s\\_chikifukushi/](http://www.pref.osaka.lg.jp/s_chikifukushi/)

大阪府福祉部 高齢介護室

☎06-6944-6668  
URL : [http://www.pref.osaka.lg.jp/s\\_koreikaigo/](http://www.pref.osaka.lg.jp/s_koreikaigo/)



●情報・相談ゾーン ..... **18**

**シニア総合サポートセンター**

◆概要

当団体は、創立44年を迎える虎ノ門法律経済事務所を設立母体とし、最高顧問に元内閣総理大臣の海部俊樹氏を迎え、法律・福祉の専門家を中心に活動しております。家族代わりとしてシニアを支援する「身元保証」や、残されたご家族のための「遺言信託」等、シニアが抱える不安にワンストップでお応えします。

◆出展内容

楽しく終活を学んでいただくため、実際にエンディングノート(引き継ぎノート)や簡単な遺言書を書くワークショップを開催します。使用したエンディングノートは贈呈いたします。

◆見どころ

ステージでは「明日から使える！介護事故の基礎知識」として、介護事故の実態及び、実際に起こった介護事故をもとにした謝罪対応・クレーム対応等のレクチャーをします。

●問い合わせ先

シニア総合サポートセンター  
〒105-0003  
東京都港区西新橋1-20-3  
虎ノ門法曹ビルB1F  
☎03-6205-4284  
URL : <http://www.senior-ssc.com/>

※写真は高野山供養塔開眼供養式



●情報・相談ゾーン ..... **21**

◆一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会

当法人が資格認定している「介護福祉経営士」は介護福祉経営に関する法制度や財務会計、リスクマネジメントなど多岐にわたる知識を習得し、その知識を実務の現場で発揮できる「介護福祉分野の経営を担う専門職です。ブースでは、各地域支部の活動状況などを紹介しています。



◆一般社団法人介護福祉指導教育推進機構

介護福祉分野の教育・研修指導者の養成や支援に資する取り組みを通じて、介護福祉サービスの発展に寄与することを目的として2013年に設立されました。ブースでは、当機構が目指す教育・研修指導者である「介護教育エキスパート」「介護福祉教育マスター」の具体的な役割イメージや人材像などをご案内します。



◆月刊『最新介護経営 介護ビジョン』

2003年にわが国初の本格的介護経営情報誌として創刊された『介護ビジョン』が着目した特集テーマを振り返るとともに、介護業界の軌跡を紹介しています。また、介護保険制度施行後、生き残るためにさまざまな取り組みをされてきた介護事業者らの歴史もご覧いただけます。



●情報・相談ゾーン ..... **19**

**株式会社コミュニケーター**

◆会社概要

28年におよぶキャリアを生かした「販促プロデュース事業」、介護情報サイト「親ケア.com」の運営などを軸とした「介護情報事業」、介護施設様などのコスト削減をサポートする「光熱費削減事業」という3つの柱で事業を展開しています。

◆出展内容

初期費用&リスクゼロ。かかるのは実際に使用した電気料金だけ。小規模施設で「18~40万円/年」、大規模施設で「60~100万円/年」のコストダウン実績のある新電力による、コストダウンのご案内。



◆見どころ

新電力導入についての疑問や、コスト削減の対象となる事業所様についてわかりやすく解説した資料を無償で配付。ご希望の方には、お勤めの事業所様が対象となるかどうか、説明員が簡易診断させていただきます。

●問い合わせ先

株式会社コミュニケーター  
〒534-0024 大阪市都島区東野田町5-2-30 エイコービル4F  
☎06-6809-4980 (電力事業部直通)  
URL : <http://www.communicator.co.jp/>



# 新しい介護福祉をデザインする 経営人財「介護福祉経営士」とは

介護福祉分野における新資格「介護福祉経営士」が誕生したのが2013年4月。以来、1000人を超える合格者が誕生し、介護業界の将来を担う人財として期待が高まっています。経営手法やマネジメントを体系的・包括的に学ぶことで、「介護福祉経営士」はどのような役割を果たせるようになるのでしょうか。

一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会では、「介護福祉経営士」について「介護福祉経営に関する法制度、財務会計、リスクマネジメント、コンプライアンス、人材育成など多岐にわたる知識を修得し、かつ、実務の現場において広くその知識・経験を発揮できる、『介護福祉分野の経営』を担う専門職」と定義づけています。

これまでの介護業界は、介護保険制度の枠組みからはみ出さないようサービスを提供し、運営することが重視されてきました。しかし財政がひっ迫するなかで、介護保険制度への依存度を抑えたビジネスモデルに転換していかなければ、先行きが厳しい状況です。そのためにも社会保障制度について熟知したうえで、外部環境、内部環境を把握・分析できる能力や、

中長期の経営計画を策定できる能力が必要となります。さらには少子化により業界外を巻き込んだ人材獲得競争が激化するなかで、「ヒト」のマネジメント能力が求められます。

このような能力を体系的・包括的に学習する仕組みを構築すること、そして学び得た知識・スキルを総合的・実践的に発揮できるような研究・研修の機会を設けることが、「介護福祉経営士」という新しい人材育成事業のねらいなのです。

## 「介護福祉経営士」の横顔

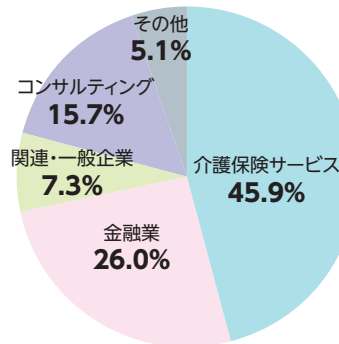
2015年度までに合計9回の「介護福祉経営士2級」資格認定試験が実施されました。結果、1085人が合格しました。

表 都道府県別会員数

都道府県名	会員数(人)	都道府県名	会員数(人)
北海道	53	滋賀県	11
青森県	3	京都府	14
岩手県	6	大阪府	47
宮城県	16	兵庫県	39
秋田県	4	奈良県	14
山形県	3	和歌山県	4
福島県	18	鳥取県	1
茨城県	6	島根県	2
栃木県	9	岡山県	23
群馬県	6	広島県	14
埼玉県	47	山口県	7
千葉県	28	徳島県	2
東京都	113	香川県	11
神奈川県	59	愛媛県	6
山梨県	1	高知県	1
新潟県	15	福岡県	38
富山県	24	佐賀県	5
石川県	16	長崎県	9
福井県	16	熊本県	10
長野県	10	大分県	8
岐阜県	7	宮崎県	8
静岡県	37	鹿児島県	8
愛知県	45	沖縄県	4
三重県	9		837

このうち正会員として入会し、資格認定を受けた「介護福祉経営士2級」は837人に達します(入会率77・1%/2016年6月末現在)。都道府県別、勤務先の業種別も構成比は図表のとおりです。

図 勤務先の業種別



本会では全国9地区に「地域支部」を設けています。ここでは研究会・勉強会を開催し、さまざまな職種の「介護福祉経営士」が集まって学びあう場として広がっています。

2015年度からは各地域支部で、「介護福祉経営士1級」資格認定試験(筆記)の合格者を対象に「介護福祉経営士」実践研修を開始しました。目的は「同一級」に必要な経営課題についての観察能力、

## 実践力を磨く実践研修

このように介護業界に在籍する人だけでなく、多様な専門分野をもつ人たちの集合体であるということも、「介護福祉経営士」の特色の一つと言えます。

これに続く「金融業」が26%で、銀行のほか、信用金庫・信用組合といった地方に根ざした金融機関、およびリース業に所属する会員が増えています。「関連企業・一般企業」61人のうち「情報システム開発・販売」が18人に上り、「コンサルティング」のうち会計士(25人)、税理士(40人)、社会保険労務士(19人)で過半数を占めます。

7月4日(月)シンポジウム②(15:30~17:00)

## 「介護福祉経営士が デザインする新しい介護福祉」

「介護福祉経営士」は、どのように介護現場にマネジメントを取り入れ、現場の問題解決、活性化等に取り組んでいるのでしょうか。各地で活躍する「介護福祉経営士」たちの実践をもとに、介護福祉の未来についてディスカッションしていただきます。



### 石本良樹

関西支部  
社会医療法人美杉会  
法人事務局 人事部部長代行



### 洪 東基

関西支部  
医療法人同友会共和病院  
医療福祉課課長



### 岩本昌樹

九州支部  
社会福祉法人くたまつ平成会  
理事長代行



### 神内秀之介

北海道支部  
社会福祉法人深仁会  
事業推進部次長調査企画室長

【コーディネーター】

### 横井孝治

関西支部理事、株式会社コミュニケーター代表取締役

分析能力を養うこと。指定された実施施設で①講義、②視察、③演習(グループワーク)を行い、研修終了後は事後課題として、研修レポート等を作成、提出します。

いわば、「見て、聴いて、語って、まとめる」というステップを通して、課題抽出・分析能力、経営戦略立案能力を養うもの。ちなみに実施施設はいずれも各地の先進経営モデルと知られる法人で、「介護福祉経営士」の実践力を磨くためには最適な環境だといえます。

介護人材不足や介護報酬の引き下げなど、介護を取り巻く環境が厳しさを増すなか、介護福祉の現場をマネジメントする人材を育て

ること、その活動が業界内外に広まっていくことが、介護の魅力と価値を高めていくことにつながると考えています。

本会が提唱する「介護福祉分野の経営人財」介護福祉経営士が、介護サービス産業の健全な発展に寄与するよう、引き続き取り組んでまいります。



演習(グループワーク)に取り組む「介護福祉経営士」実践研修の受講者の皆さん

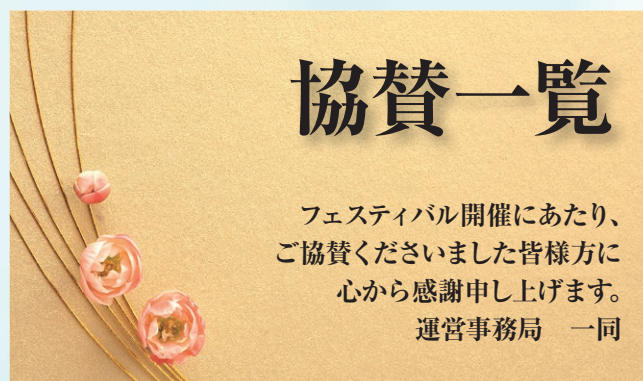


## 株式会社 ケイ・エスピー

代表取締役

菅野 耕司

大阪府東大阪市西堤本通東3丁目6番26号  
TEL.06-6782-8071



社会福祉法人援助会

理事長 木戸 邦夫

福岡県北九州市八幡西区青山2丁目1-1  
TEL 093-631-6311 FAX 093-645-2039  
<http://www.st-joseph.or.jp/>

医療と福祉のトータルサービスカンパニー

 株式会社 日医リース

代表取締役社長 石井 延佳

東京都品川区西五反田1-3-8  
TEL:03-3490-8641(代表) FAX:03-3490-8646  
<http://www.nichii-lease.com/>

## エバーライフビジネスカレッジ

代表取締役 金丸 宜裕

〒880-0824 宮崎県宮崎市大島町南窪843番地  
TEL : 0985-65-7272 FAX : 0985-22-2204  
<http://ever-life.com>  
FacebookとTwitterは「エバーライフビジネスカレッジ」で検索

 KYOCERA

THE NEW VALUE FRONTIER



理事  
コンサルティング事業統括本部長

松井 達朗

京セラコミュニケーションシステム株式会社

東京都港区三田3-13-16 (三田43MTビル14階) 〒108-0073  
TEL : 03-5765-1537 FAX : 03-5765-1563  
<http://amc.kccs.co.jp>  
E-mail:amc-information@kccs.co.jp

## Pascal Japan

パスカル ジャパン

神谷 進

〒464-0841  
愛知県名古屋市千種区覚王山通8-35-1001  
TEL : 052-759-2293 FAX : 052-759-2295

## 中北薬品株式会社

代表取締役社長 中北 馨介

〒460-8515  
愛知県名古屋市中区丸の内三丁目五番十五号 油伊ビル  
TEL 052-971-3681  
FAX 052-971-3680  
<http://www.nakakita.co.jp/>



**株式会社カナメ経営会計**

代表取締役 **堀内 寛人**

神奈川県平塚市平塚一丁目9番27号  
TEL 0463-32-8892 FAX 0463-34-0416  
<http://www.kaname-tax.com/>

NPO法人と福祉事業者様を支援します  
**各務克郎税理士事務所**  
税理士・行政書士・介護福祉経営士

**各務克郎**  
かか み かつ ろう

岐阜県岐阜市松屋町12番地 菱屋ビル1階  
TEL 090-4860-5401 FAX 058-264-0149  
E-mail: eachduty89507@gmail.com  
各務克郎税理士事務所  
<http://www.facebook.com/eachduty89507>  
C-MAS介護事業経営研究会岐阜中支部  
<http://www.facebook.com/cmastgfunaka/>



**株式会社 明昌堂**

Design・DTP・Web・Printing

代表取締役社長 **桜井昌弘**

**東京本社**

〒141-0032 東京都品川区大崎3-9-10  
TEL 03-5759-3946(代表) FAX 03-5759-3950

**新潟支社**

〒949-6615 新潟県南魚沼市西泉田  
TEL 025-778-1234(代表) FAX 025-778-1033

<http://www.meisho-do.jp>



**図書印刷株式会社**

代表取締役社長 **川田 和照**

〒114-0001 東京都北区東十条3-10-36  
TEL.03-5843-9700  
<http://www.tosho.co.jp/>

**介護と看護に、まごころを込めて。**

**株式会社めいとケア**  
<http://www.mate-care.com>

本社/〒270-0004 千葉県松戸市殿平賀56-1  
TEL047-312-1234(代表) FAX047-312-1235

**0120-015-030 / 本社**

【個人情報について】業務上必要な範囲においてのみ利用し、その目的以外には利用いたしません。



ES組織づくりの  
有限 人事・労務  
会社  
Personnel Affairs & Labor Management co.,Ltd.

代表取締役 **矢萩 大輔**

〒111-0036  
東京都台東区松が谷3-1-12 松が谷センタービル5F  
TEL: 03-5827-8217 FAX: 03-5827-8216  
[http://www.jinji-roumu.com/sasshi\\_kaigo.html](http://www.jinji-roumu.com/sasshi_kaigo.html)  
Mail:info@jinji-roumu.com

NOTO PRINTING GROUP 創る力と、伝える技術

**能登印刷株式会社**

代表取締役社長  
**能登 健太郎**

〒924-0013 石川県白山市番匠町293番地  
TEL.076-274-0084 FAX.076-274-8770  
<http://www.notoinsatu.co.jp>

介護福祉経営士を応援します!

特定医療法人財団博仁会  
**横田病院**

富山県富山市中野新町1丁目1番11号  
TEL:(076)425-2800 FAX:(076)425-2809  
<http://www.yokotahp.or.jp>



**印刷まわりの  
総合サービス**

- 一般総合印刷
- MS officeデータ編集
- グラフィックデザイン、DTP
- 封入、発送代行、DM
- ドキュメントスキャン
- SPツール
- 翻訳

**TEL 03-3802-4371**

**http://www.mas.co.jp**

MASTEC  
株式会社 マステック 〒116-0013 東京都荒川区西日暮里5-7-2

**UE 株式会社 上野印刷所**  
〒136-0071 東京都江東区亀戸 5-42-15

**NO 03-3636-6311**

FAX 03-3636-6316 Mail sales@ueno-p.co.jp

WEB もチェック

▶▶ <http://www.ueno-p.co.jp>

Illustration and any graphics

**おさる**

Gifu Japan

Illustrator & Graphic Designer  
**M A S A K A T S U M O R I**  
もりまさかつ

TEL&FAX 058-374-1728  
osaru1996@gmail.com


未来のあたりまえをつくる。

**DNP**

**大日本印刷株式会社**


〒162-8001 東京都新宿区市谷加賀町1-1-1  
TEL 03-3266-2111 <http://www.dnp.co.jp/>

介護・医療・ヘルスケア事業コンサルティングを通じて  
豊かな未来づくりに貢献します!

**株式会社ウエルビー** 

代表取締役 **青木 正人**

〒150-0031  
東京都渋谷区桜丘町9-18 タカシマ桜丘マンション104  
TEL.03-5428-5785 FAX.03-5428-5786  
E-mail.info@well-be.net <http://well-be.net/>


 **安心して希望と誇りが持てる  
社会の実現に貢献します。**

医療・福祉・介護経営に関するご相談は、全国の  
MMPG会員まで、お気軽にお問い合わせください。  
尚、MMPG本部へのお問い合わせは下記まで


日本最大級の医療・福祉・介護経営コンサルタントグループ  
**メディカル・マネジメント・プランニング・グループ**

東京都中央区銀座8-11-11 TK銀座8丁目ビル2階  
TEL 03-5537-3411 FAX 03-5537-3412  
URL <http://www.mmpg.gr.jp>

**長谷川介護サービス株式会社**

  
Hasegawa hldgs.

人事部 人財開発課 次長  
**久保 元吾**

  
イリーゼ

東京都豊島区東池袋3-1-1 サンシャイン60 57階  
TEL.03-5960-1870 FAX.03-5391-3721  
<http://www.irs.jp/>

あしたを元気に **NEXT solasto 50th**

**株式会社ソラスト**

代表取締役社長 **石川 泰彦**

〒108-8210 東京都港区港南1-7-18 DBC品川東急ビル6F  
TEL 03-3450-2610(代) FAX03-3450-2612  
<http://www.solasto.co.jp/>





湘南カレングループ  
湘南乃えんホールディングス株式会社

CEO  
**甲斐 裕章**

〒251-0024  
神奈川県藤沢市鵜沼橋1-1-2 F.I.C鵜沼ビル4F  
TEL:0466-21-8013 FAX:0466-25-1033  
http://shonannoen.com  
E-mail:s.negura@enkaigo.com



**クレールケアサポート**

代表 **田中 邦和**

〒007-0813  
札幌市東区東苗穂13条2丁目5番7号  
TEL:011-792-3535 FAX:011-790-2315  
http://www.clair-care.com  
E-mail:info@clair-care.com

介護・住まいの相談室

**コミュニティケアライフ2030**  
(C・C・L)

シニアライフプランナー (住まいのコンシェルジュ)

代表 **岡西 清治**

介護福祉経営士・介護支援専門員・宅地建物取引士

〒671-4136 兵庫県宍粟市一宮町嶋田241番地  
TEL:**090-3263-1887** FAX:079-433-0718  
E-mail:kizuna522@docomo.ne.jp



NDソフトウェア販売代理店

新興サービス株式会社 大阪支店

〒541-0054  
大阪市中央区南本町3丁目1番12号 カネセ中央ビル内  
TEL:06-6245-2631 FAX:06-6245-2635

ほのぼのNEXT

ほのぼのmore.

Time fun

**社会福祉法人小田原福祉会**

理事長 **時田 純**

神奈川県小田原市穴部377  
TEL 0465-34-6001 FAX 0465-34-9520  
http://junseien.jp/

**一般社団法人C.C.Net**

専務理事 **馬場 博**

神奈川県横浜市西区岡野1-1-6-702  
TEL 050-3774-4808  
FAX 050-3737-9907  
E-mail:info@c-c-net.or.jp  
URL:http://c-c-net.jimdo.com



医療・健康・介護関連の企画・編集・制作

Medical  
Leaf

**株式会社メディカル・リーフ**

〒104-0032 東京都中央区八丁堀 4-11-7 アライビル 3F  
TEL : 03-6222-8280 / FAX : 03-6222-8281

**TOPPAN**

**凸版印刷株式会社**

〒112-8531 東京都文京区水道 1-3-3  
TEL : 03-5840-3111

第1回 **全国介護福祉総合  
フェスティバル** in 大阪

## 見どころガイドブック

---

発行日 2016年7月1日  
発行 一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会  
〒101-0042  
東京都千代田区神田東松下町17 もとみやビル3階  
TEL 03-3256-0571 / FAX 03-3256-0572  
URL : <http://www.NKFK.jp>  
制作 株式会社日本医療企画  
印刷・製本 図書印刷株式会社

---